

令和 4 年度 猪苗代町
通学路安全推進会議 第 1 回合同点検【報告】

日時：令和 4 年 9 月 2 日（金） 13:00～16:00

場所：猪苗代町内各所

進行：教育総務課（杉原）

出席者

構成機関名	担当課等	出席者（敬称略）
福島県猪苗代土木事務所	業務課	主任主査兼業務課長 宗形 恒太郎
福島県警察猪苗代警察署	地域交通課 刑事生活安全課	巡 査 部 長 三瓶 裕 警 部 補 渡部 圭史 ※欠席
猪苗代町	総務課	主 事 近藤 ひとみ
猪苗代町	建設課	課 長 古川 睦志 係 長 柳沼 隆 主 事 遠藤 勇人
町校長会	点検箇所地区小学校校長	吾妻小学校校長 安藤 靖 猪苗代小学校校長 吉野 徹 千里小学校校長 高久 賢一 猪苗代中学校校長 横山 泰久
町 P T A 連絡協議会	点検箇所地区 PTA 会長	吾妻小 PTA 会長 渥美 慎司 ※欠席 猪苗代小 PTA 会長 眞田 晃法 千里小 PTA 会長 小林 寛 猪苗代中 PTA 会長 阿部 智剛
猪苗代町教育委員会	教育総務課（事務局）	課 長 安部 庄英 主任主査兼指導主事 杉原 圭

1 合同点検箇所と結果

(1) 吾妻小学校・猪苗代中学校 樋ノ口地内



《現状》

- 樋ノ口地区内の街路灯が令和 5 年度に消える可能性があり、登下校時の防犯に関してとても心配である。
- 空き家の前にバス停がある。登校時には中学生がこのバス停で待つ。小学生の路線バス班もこの停留所で降りる。
- 地震や台風等の自然災害時には、壊れたトタンの破片が実際にとんできてしまう。道路側に出ているものは地区の方が処分している。
- 空き家には蜂の巣（キイロスズメバチ）があり、蜂の動きから、屋内にも巣を作っているようであることが確認された。

《要望》

- 空き家のハチの巣駆除。
- 空き家のトタンやガラスなど、強風が吹いても危険のないようにしてほしい。
- 街路灯を消さないでほしい。

《合同点検の結果・対応》

- 空き家については空き家対策担当より現在所有者に確認中である。(R4.9.16)(町総務課)
- 中学生の路線バス待ち生徒は空き家側に寄らないようにする。(学校)
- 見えているハチの巣は駆除できたが、家屋の中に入出入りするハチは巣の場所が確認できなかったため、家の所有者に確認する。(町総務課)
- 小学生児童の集団登校班には、空き家にハチの巣があることを知らせ、家の壁などに衝撃を与えることのないように安全指導を徹底する。(学校)
- 街路灯については地区内対応。(地区)

（２）猪苗代小学校・猪苗代中学校 雷地内 県道猪苗代塩川線横断歩道



《現状》

- 信号のない横断歩道で、南北に横断している。大型トラックの交通量も多いため、横断時に怖さを感じている。
- 強風や地震の時、建物からの落下物がありそうで危険を感じている。
- カラー舗装されているが、車両との距離が近いため、怖さを感じている。

《要望》

- 横断歩道を鮮明にしてほしい。
- ドライバーへのマナー向上。
- 歩道の整備。

《合同点検の結果・対応》

- 横断歩道は今年度中に引き直す。（警察署）
- 歩道のカラー舗装は、塗装剥がれの状況と予算を見ながら検討する。現状では緊急的に実施はしない。（福島県猪苗代土木事務所）
- 空き家からの落下物がありそうで危険を感じている件に関しては、所有者と連絡した後、目の細かいネットを設置するなど、落下物がないようにしたい。（総務課）

（３）猪苗代小学校・猪苗代中学校 芦原地内

町道芦原北高野線から県道猪苗代停車場線にあたるＴ字路



《現状》

- ダイソー前Ｔ字路では、車両が停止線を越えて左右確認しているドライバーが多い。歩行者にとっては危険を感じている。
- 信号がないため、歩行者にとっては危険を感じている。

《要望》

- 信号機をつけてほしい。
- ドライバーへは歩行者が通る際に特に注意するようお願いしたい。

《合同点検の結果・対応》

- 通り沿いにある信号や横断歩道の状況から、信号を新設するとドライバーや歩行者にとって情報が増えすぎ、わかりにくくなってしまう。そのため安全を確保できないため、信号は設置しない。(警察署)
- 通行するドライバーはルールを守り安全走行する。(地域への要望)
- 児童生徒には現状を共有し、安全指導を徹底する。(学校)

(4) 猪苗代小学校 北半坂・南半坂地内

県道猪苗代塩川線・町道猪苗代塩川線交差点



《現状》

- 塩川線を横断し、学校へ続く町道に入っていく。
- 児童は右側、左側の両方を通行しているが学校側へ渡るタイミングはそれぞれ。
- 児童は、夏は右側通行、冬は左側通行、その後校門を通過して学校内に入っていく。
- 道が狭いため、歩行者と車両の距離が近い。危険を感じている。
- 冬期間は右側通行で登校すると、屋根の雪も心配である。

《要望》

- 横断歩道を町道入口到新設依頼した方が安全かどうか見てほしい。
- 夏期も冬期も安全に登下校するためのアドバイスをお願いしたい。

横断歩道は新設しない。

《合同点検の結果・対応》

- 県道塩川線交差点から町道へ入り、校門前までは左側を歩くように指導する。その後校門前の横断歩道で横断し、学校敷地内へ入るようにする。(学校)
- 内輪差による巻き込み事故も懸念されるため、横断歩道は新設しない。(警察署)
- 児童への安全指導を徹底する。(学校)

(5) 千里小学校 芦原地内 猪苗代中旧校舎北側

町道名古屋町猪中裏線・町道八千代北高野線交差点



《現状》

- 交通量は多くはないが、スピードを出す車両が多い。時々、事故が起きている場所。
- 抜け道として使用する車両が多い。
- 登校班の集合場所。時々通る車両のスピードが速く、怖さを感じている。

《要望》

- 優先道路をはっきりとしてほしい。
- 止まれの標示が欲しい。

《合同点検の結果・対応》

- 注意喚起ができるよう破線を四カ所に引く。(町建設課)
- 中央の十字も引き直す。(町建設課)
- スピードのある車両が多く通過するので、児童への安全指導を徹底する。(学校)

(6) 千里小 千代田歩道橋一带 町道三城湯西館線



《現状》

- 歩道橋を下りてから横断する際、グレーチングでスリップする車があり、大変危険を感じている。

《要望》

- ドライバーへの注意喚起。
- 学校北側道路の歩道を整備してほしい。

《合同点検の結果・対応》

- グレーチングは雨水や消雪用の水を逃がす役割がある。スピードを落とさずに右折(左折)するドライバーに問題があると思われる。(町建設課・警察署)
- 児童へは狭い道であること、グレーチングが大事な役割をもっていること、グレーチングがあると車が思わぬ方向にスリップする可能性があることを指導する。信号だけでなく状況も確認してから横断することを指導する。(学校)

(7) 千里小 学校北側道路一帯 町道三城湯西館線



《現状》

■歩道がない。路線バスも通る。
■道が狭い。橋の上は特に狭く、さらに冬になると積雪により歩行者と車の距離が近いいため怖さを感じている。

《要望》

●児童が安全に歩ける歩道を整備してほしい。

《合同点検の結果》

- 現状を確認した。道の拡張はすぐには対応できないため、今後も継続して児童への安全指導を徹底する。(町建設課・学校)
- のぼり旗や看板による注意喚起の継続。その量も適切にし、多すぎて視界を遮らないようにする。(学校)

2 その他

○令和4年度第1回合同点検について

- ・今年度から、通学路推進会議と合同点検日を分けて実施した。
- ・該当する機関が各点検箇所集合し、点検後移動、もしくは解散となった。
- ・駐車場が狭い箇所があったため、乗り合わせで車両台数を減らすことができればよかったが、コロナ感染予防の観点から考えれば、別々に移動したほうが安心だったということも考えられる。
- ・学校から報告を受けた危険箇所については事前に役場三課(総務課・建設課・教育総務課)で点検することができた。その際、横断歩道が鮮明になっていたり、改善されている箇所も含めて総点検できた。

○各学校への公表について

- ・町校長会、教頭会で公表し危険箇所について点検結果を回答する。内容によっては児童生徒への再指導をお願いする。

○地域への公表について

- ・猪苗代町ホームページにおいて公表する。